

2. 自己点検について
下記について点検を行ってください。

	番号	点検箇所	点検方法	点検事項
本体	1	外装布	目視検査	擦れ・破け・ほつれ・変色等がないこと。
	2	ベルト	目視検査	破け・ほつれ・裂け・変色等がないこと。
	3	バックル等	目視検査	割れ・亀裂・変色等がないこと。
	4	注意書き	目視検査	擦れ・破け・はがれ等がないこと。
	5	反射テープ	目視検査	貼り付け状況
	6	給気チューブ	目視検査	割れ・亀裂・変色等がないこと。
	7	逆止弁	目視検査	壊れ等がないこと。
	8	*気室布	目視検査	擦れ・破け・ほつれ・変色等がないこと。
			気密検査	空気漏れがないこと。
9	笛・笛紐	目視検査	取り付け状態・割れ・亀裂・変色等がないこと。	
膨脹装置	10	ポンベ	目視検査	未使用品が装着されていること。
			目視検査	錆び・割れ・変色等がないこと。
	11	スプールカバー	目視検査	割れ・亀裂・変色等がないこと。
	12	スプール	目視検査	未使用品が装着されていること。
			目視検査	割れ・亀裂・変色等がないこと。
	13	安全ピン	目視検査	未使用品が装着されていること。
			目視検査	割れ・亀裂・変色等がないこと。
	14	引き手・手動索	目視検査	握り玉が本体の外に出ていること。損傷がないこと。
	15	本体	目視検査	割れ・亀裂・変色等がないこと。
			目視検査	水気がないこと。
目視検査			ボルト緩みがないこと。	

* 気室全体の空気漏れ確認作業
検査方法 1 (呼気検査)



給気チューブから気室が
パンパンになるまで息を
吹き込みます。



1 時間以上放置すること
によって確認することが
できます。



放置後、手で触ってみて確
認をします。

減っていない場合は OK。



減っている場合は検査方法 2 へ。

検査方法 2 (水没検査)



必ずスプールをはずして自動膨脹機能が作動しない様にします。
(はずさないで自動膨脹を起こし過剰な空気量が気室に入り破れる恐れがあります。)



給気チューブから気室がパンパンになるまで息を吹き込みます。



水没させます。気室から気泡が発生しなければ問題ありません。

もし発生している場合は空気漏れを起こしていますので、使用を中止してメーカー点検を受けてください。(ポンペをはずして水没させると膨脹装置のポンベ口から気泡が出ることがありますので、ポンペははずさないで検査してください。)